

防災拠点の配置

①防災拠点の場所の検討

君津市の防災拠点として、本庁舎以外の場所に設置することが考えられます。案として消防本部、中央図書館、生涯学習交流センター、保健福祉センター（ふれあい館）、市役所北側駐車場、市役所敷地内の噴水エリアに設置することが考えられるため、各施設を防災拠点とした際の課題を整理します。

市役所と各施設とのアクセス性は、以下の通りです。（施設名称の後の数字は君津市役所からの距離を示しています。）

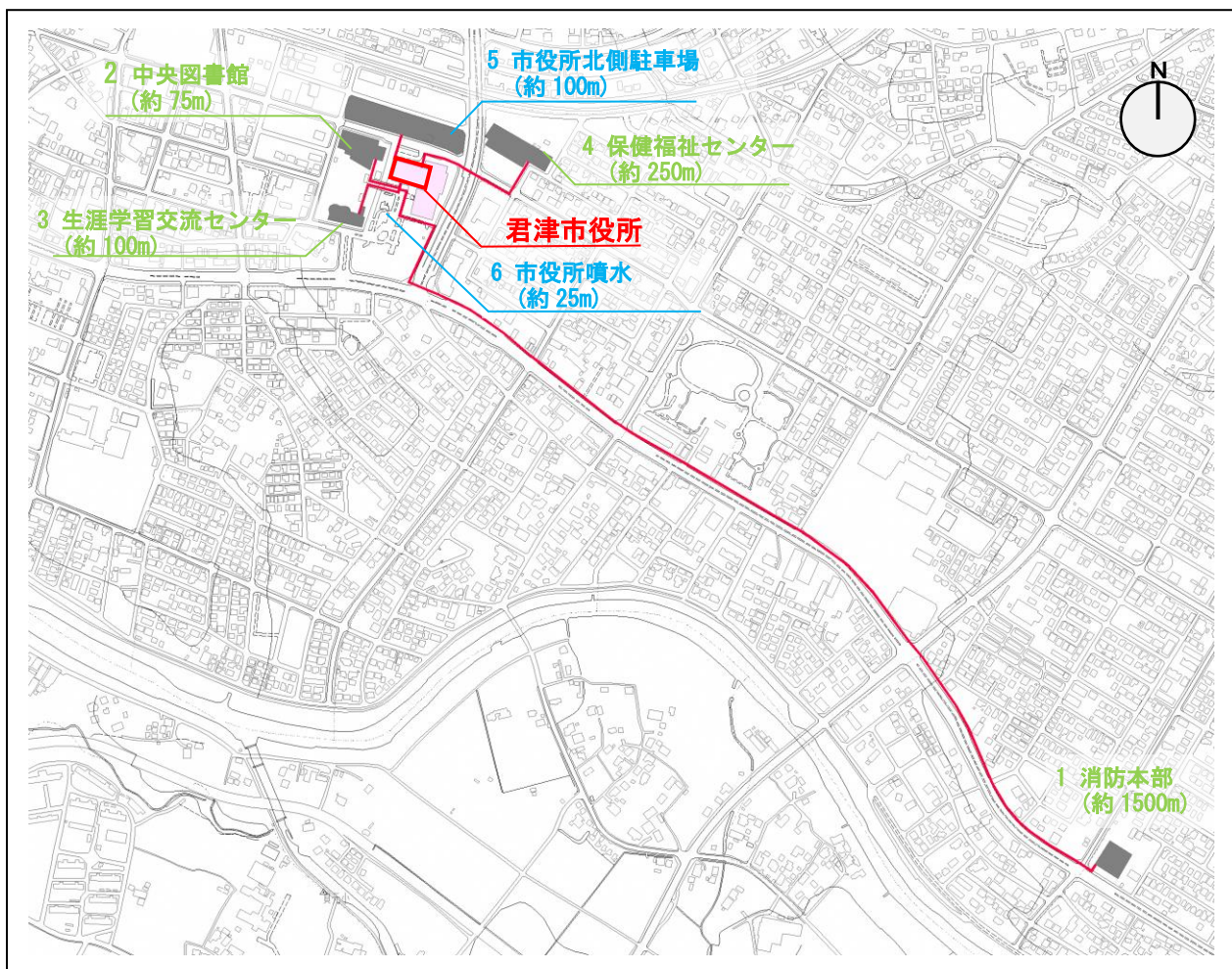


図 君津市役所とその周辺の公共施設群の配置

上記の地図において、市役所と一番距離のある君津市消防本部の距離は約 1,500m となります。通常時、車による移動は約 5 分、徒歩による移動は約 20 分です。但し、災害時、渋滞等により車両の移動が難しく、また仮に徒歩で移動するとしても市役所と消防本部を結ぶ道の被災状況により、安全に通行できるか確証はないため、消防本部に防災拠点を設ける場合、いかに早くアクセス出来るかが課題となります。

②各施設の面積

【君津市役所本庁舎】

災害時の拠点として機能している君津市役所では、今年9月の台風の際に「台風災害対応諸室」として以下の赤枠の部屋を使用しました。

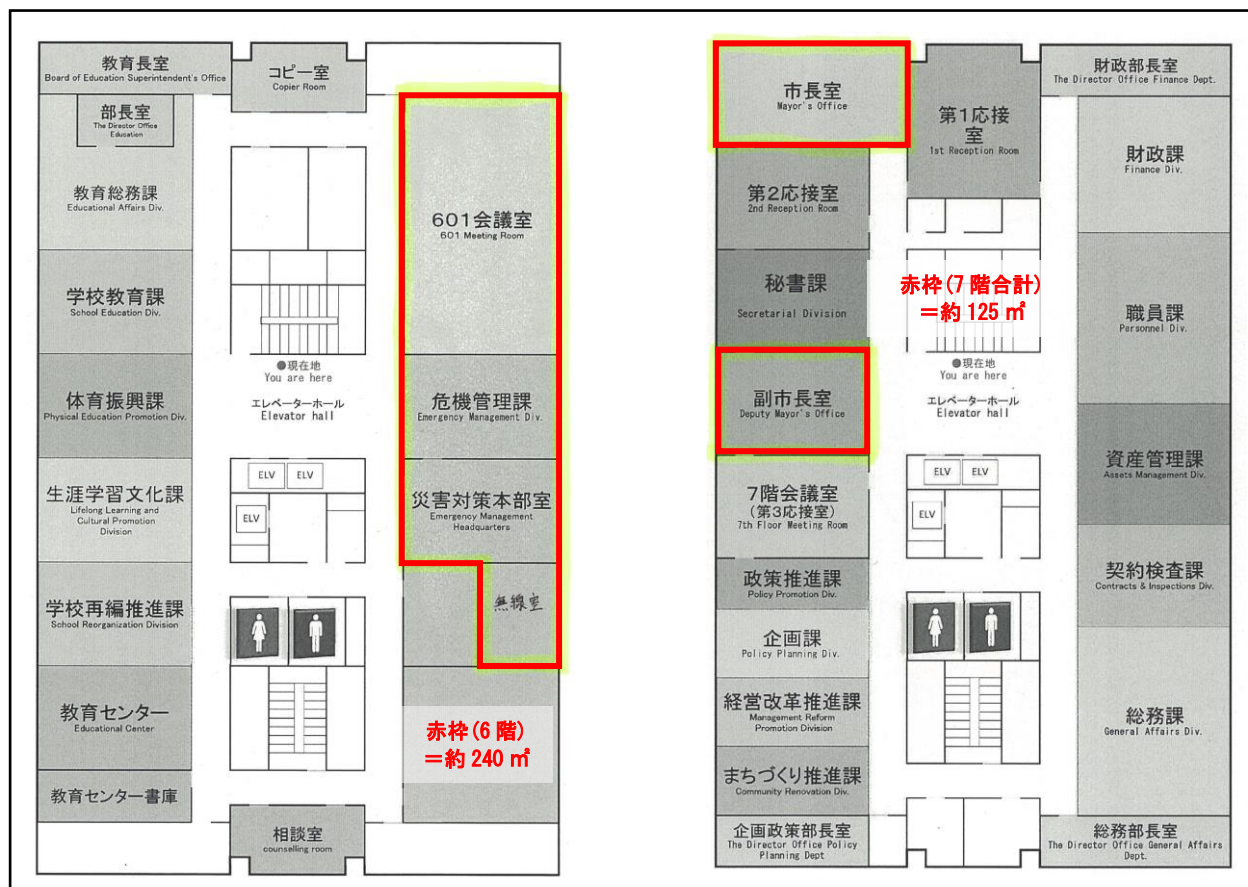


図 君津市役所 6階 7階 平面図

今回、防災拠点施設を検討するにあたり、台風災害対応で使用したスペースを基準に、他の施設で「台風災害対応諸室」相当のスペースが確保できるかを確認します。

■君津市役所（台風災害対応諸室） 面積

本庁舎 6階	601 会議室＋危機管理課＋災害対策本部室＋無線室	計 240 m ²
本庁舎 7階	市長室＋副市長室	計 125 m ²

台風災害対応諸室として使用された上記合計	365 m ²
----------------------	--------------------

1 【消防本部】

■ 2階 大会議室 230 m²

消防本部の中で、防災拠点として使用可能と考えられる部屋は、2階の大会議室になります。面積は約 230 m²あることから、市役所で使用した 6 階の機能(約 240 m²)を収めることが可能と考えます。市役所の 7 階で使用した機能は、休憩室や食堂を使用することで、面的には災害時に防災拠点として対応可能と思われますが、災害時には消防署としても大会議室を使用する必要があるため、消防本部を防災拠点として使用する場合は、それぞれの機能の棲み分けの調整が課題となります。

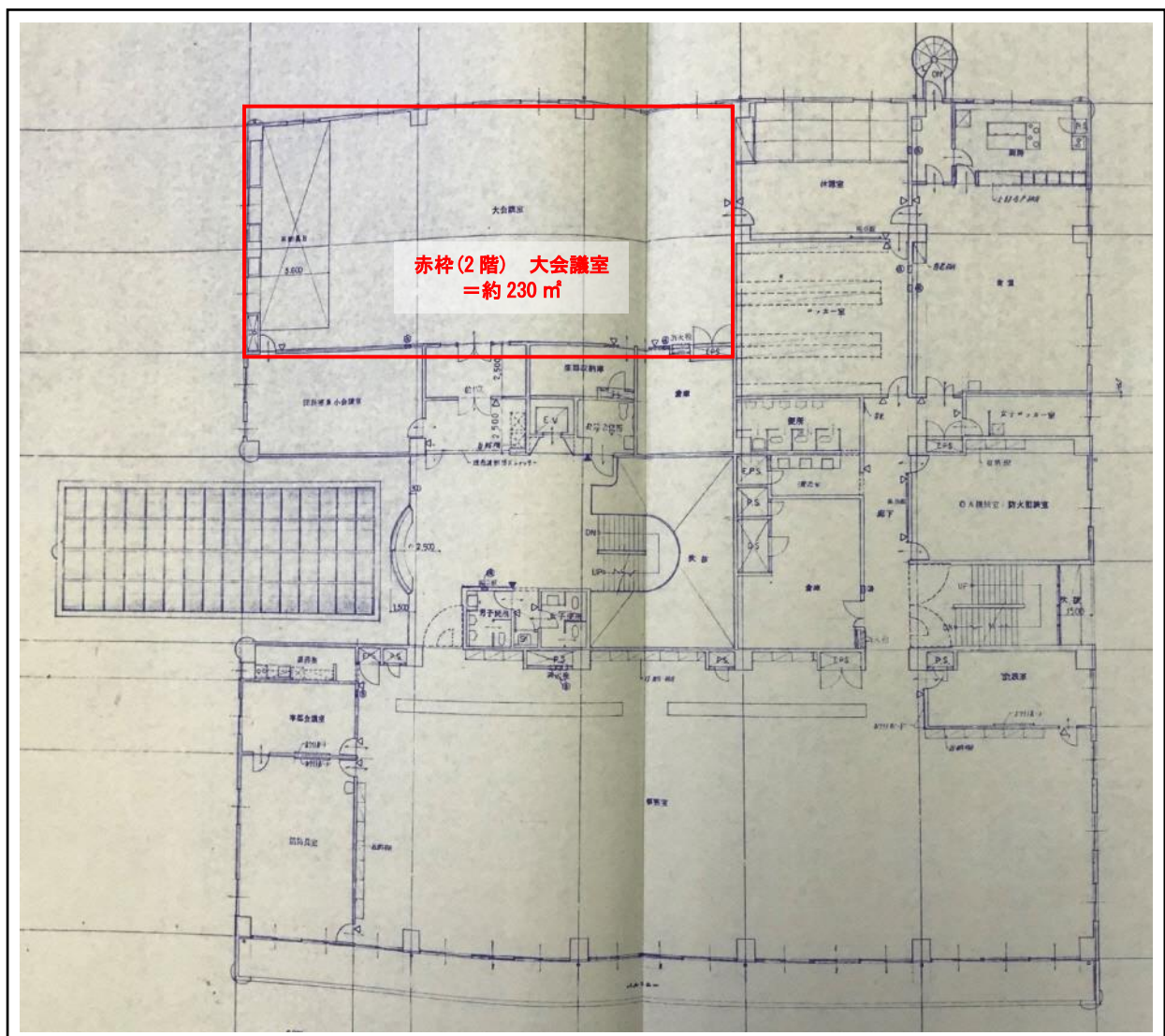


図 君津市消防本部 2階 平面図

2 【中央図書館】

■ 2階 視聴覚室 100 m² 会議室 201 55 m²

中央図書館の中で、防災拠点として使用可能と考えられる部屋は、2階の視聴覚室と会議室 201 になります。面積は視聴覚室が約 100 m²、会議室 201 が約 55 m²であることから、市役所で使用した防災拠点における十分な面積を満たすことができないと考えます。加えて視聴覚室までの施設内の動線も狭く、災害時に人々が行き交うことを考えると、防災拠点として使用するには解決すべき課題が多いと考えます。

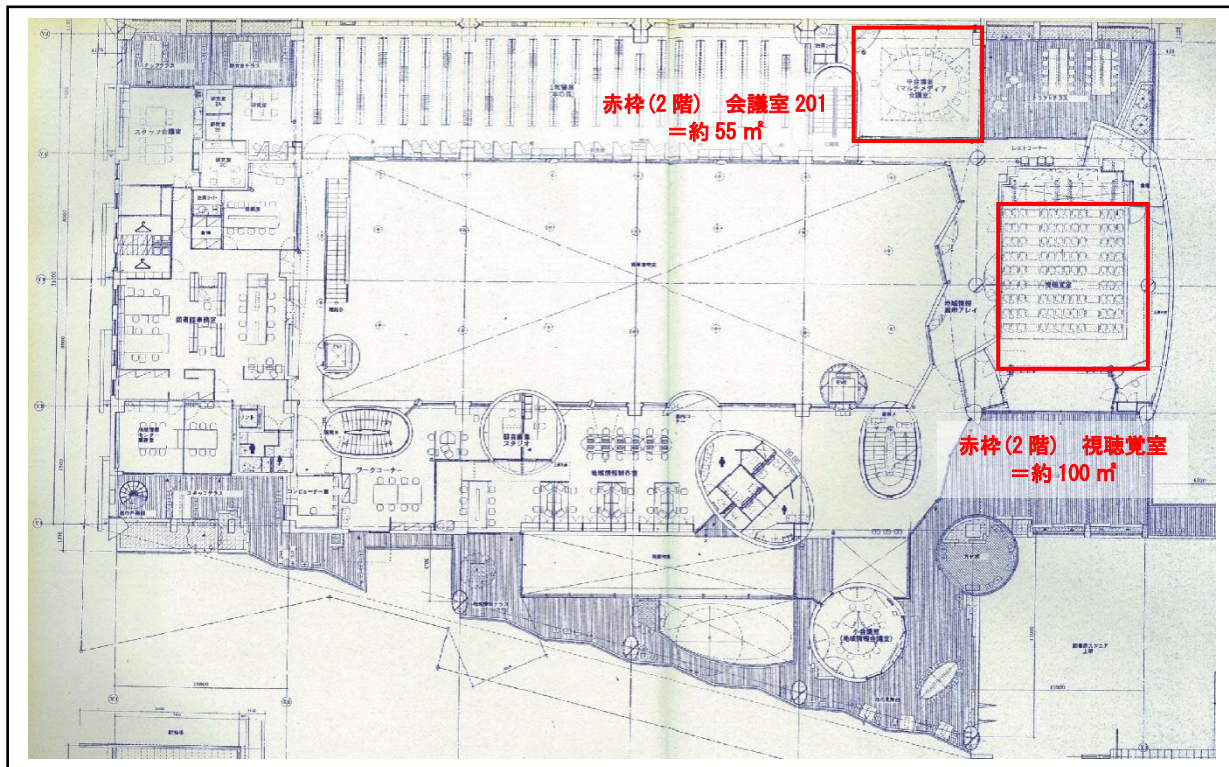


図 中央図書館 2階 平面図

3 【生涯学習交流センター】

■ 2階 多目的ホール 225 m² 会議室群 170 m²

生涯学習交流センターの中で、防災拠点として使用可能と考えられる部屋は、2階の多目的ホールと会議室群になります。面積は多目的ホールが約225 m²、会議室群が約170 m²であることから、市役所で使用した防災拠点の面積を十分に満足することができます。市役所からの動線も行きやすく、市役所の外部に設ける防災拠点として、機能できると考えます。一方で、多目的ホールの天井高が高いこと、防災拠点として使用する場合は指定避難所として指定されているため一般の方の利用を止めないと混乱を招く可能性があること、加えて防災拠点としての構造耐力が満足していることの確認などの課題があります。

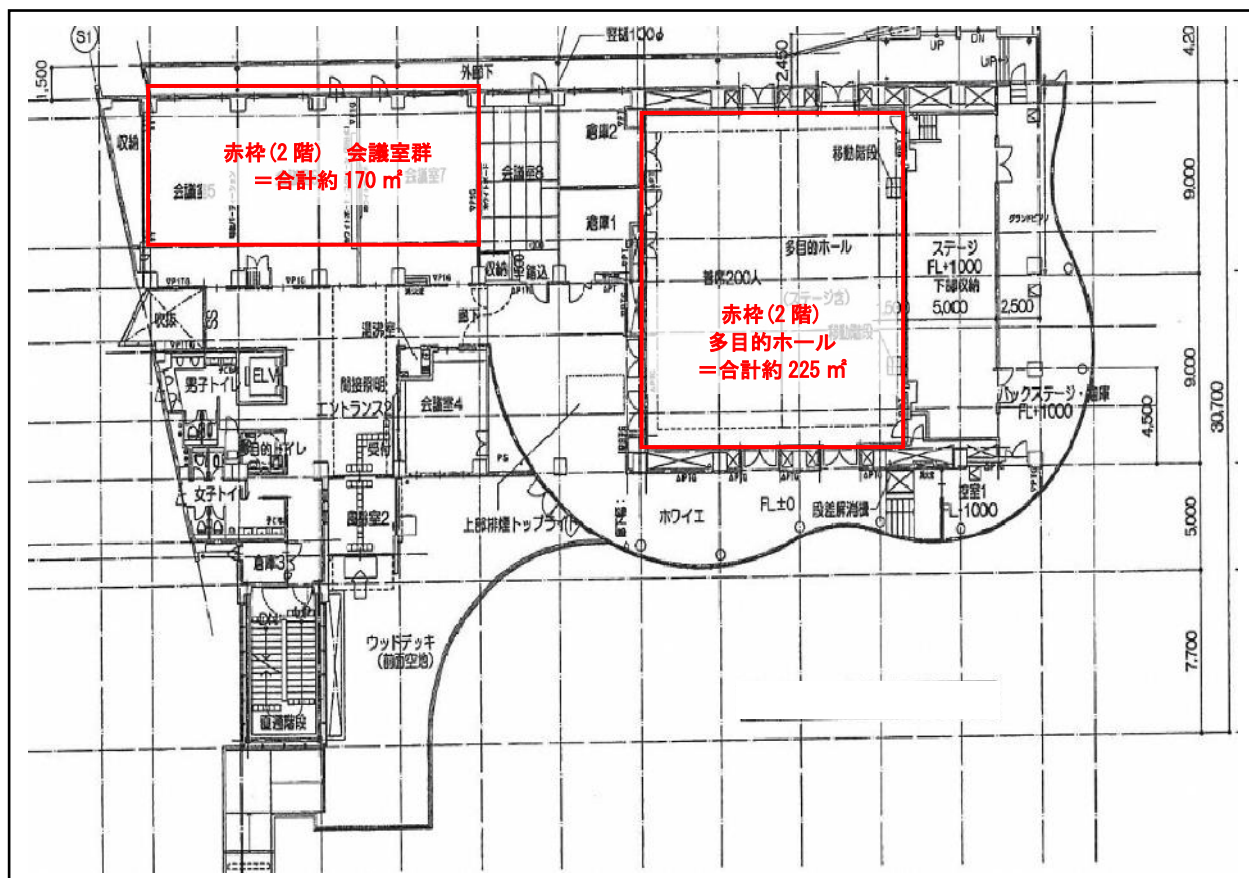


図 生涯学習交流センター 2階 平面図

4 【保健福祉センター（ふれあい館）】

■ 2階 コミュニティホール 195 m² 会議室3 36 m²

保健福祉センター（ふれあい館）の中で、防災拠点として使用可能と考えられる部屋は、2階のコミュニティホールと会議室3になります。面積はコミュニティホールが約195 m²、会議室3が約36 m²であることから、市役所で使用した6階の機能（約240 m²）を概ね収めることが可能と考えます。しかし、その他に自由に使用できそうな居室は確認ができなかったこと、災害時には保健福祉センターとして別途、災害対応の使用が見込まれること（福祉避難所の指定を受けている）などから、防災拠点としての機能を満たすためには課題があります。

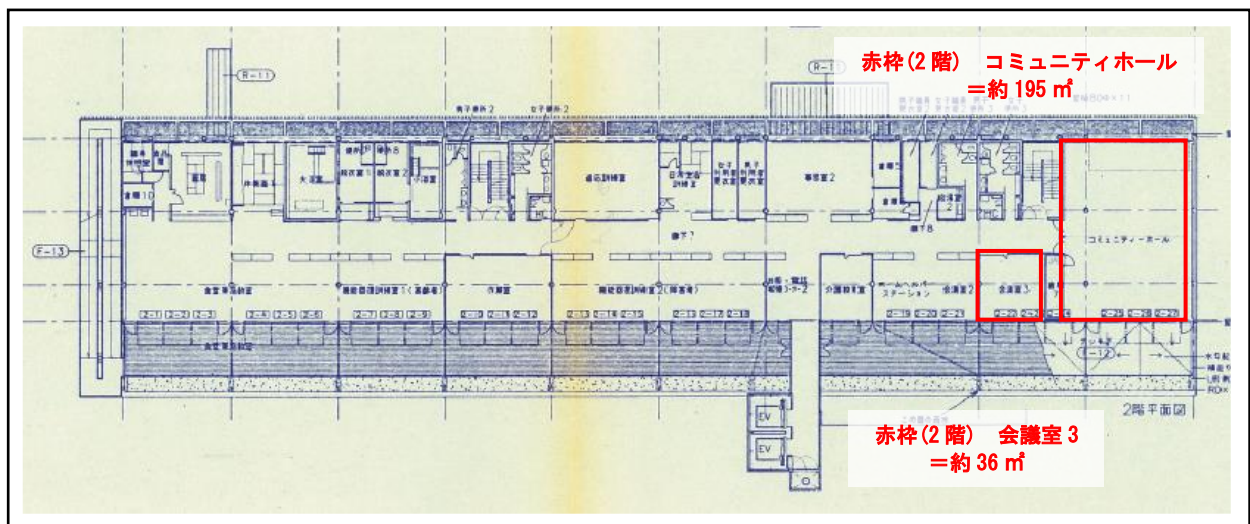


図 保健福祉センター 2階 平面図

5 【君津市役所 北側駐車場】

■ 敷地面積(暫定で境界線を設定) 1,200 m²

6 【君津市役所 噴水エリア】

■ 敷地面積 360 m²

5, 6 に関して、市役所の周囲で防災拠点として使用可能な場所を選んで検討しました。

5 の北側駐車場は、東西に長くありますが、今回の比較では暫定的に敷地の境界を設定しています。市役所からのアクセスは、市役所前面の道路を横断する必要がある、最短のルートを確認しようとする場合は横断歩道を新たに設置する必要がありますが、市役所からは近接した位置に計画することが可能です。

6 の噴水エリアに関しては、市役所の南側に計画することができますが、敷地面積が約 360 m²ということで、新規で防災拠点を計画する場合制約がいろいろと出てくるため、この場所で計画を行う場合、工夫が必要になります。

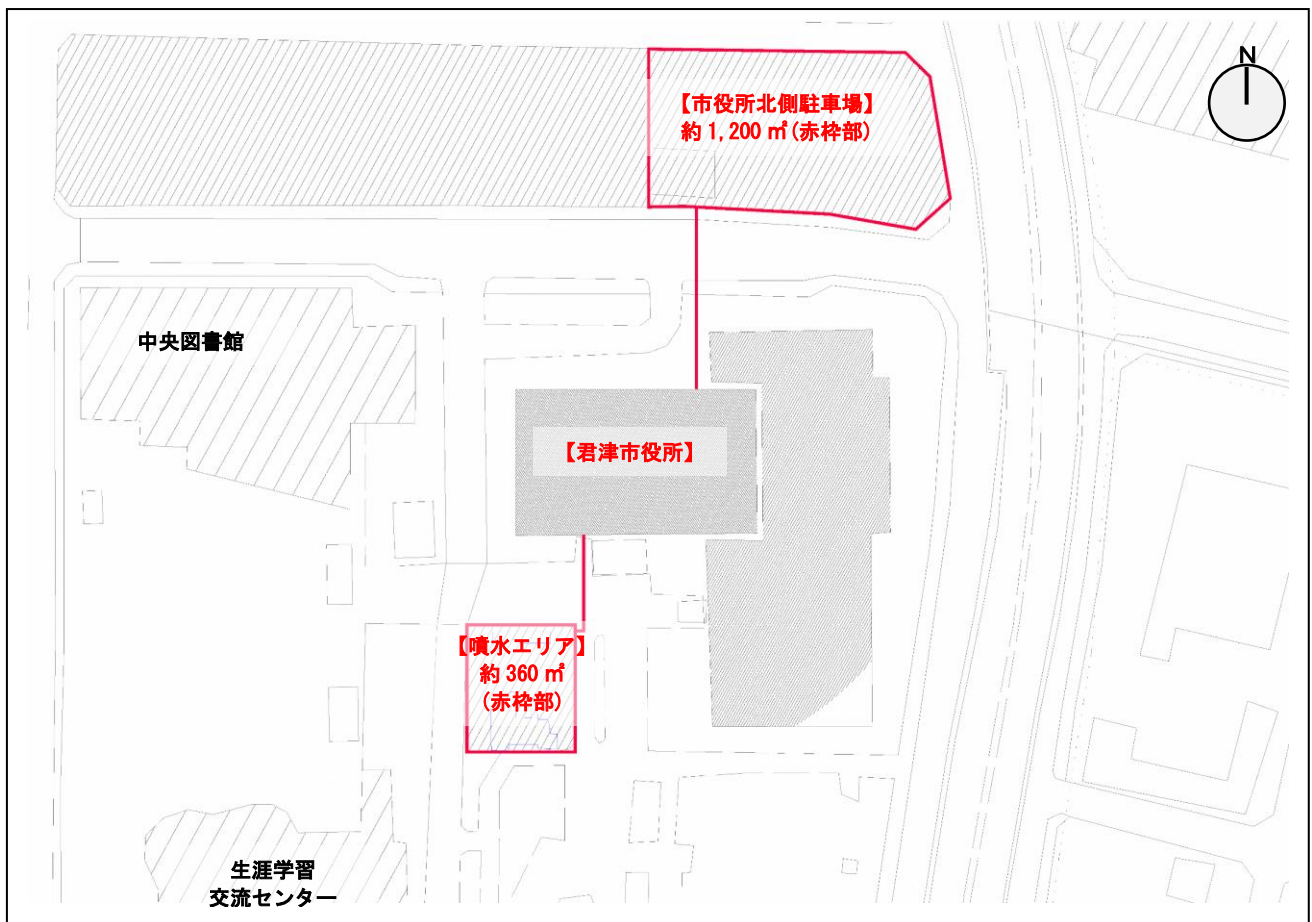


図 君津市役所と周辺施設 配置図

③施設の防災拠点としての可能性

以上、6 か所の施設・場所で、市役所からのアクセス性、防災拠点が確保できるか否かの規模感、防災拠点としての機能性等の可能性を検討しました。

以下、各施設・場所ごとに整理します。

	施設名称等	該当諸室	総論
1	君津市消防本部	【2階】 大会議室	- 施設の位置は、市役所と距離がある - 防災拠点としてのスペースは問題なし - 災害時に消防が使用することもあり、防災拠点として使用する場合、消防との調整が必要
2	中央図書館	【2階】 視聴覚室 会議室 201	- 施設の位置は、市役所に近接 - 防災拠点としてのスペースは満足できない - 施設内も階段などが広くなく、災害時の人の行き来に際して難がある
3	生涯学習交流センター (指定避難所※)	【2階】 多目的ホール 会議室群	- 施設の位置は、市役所に近接 - 防災拠点としてのスペースは問題なし - 多目的ホールの天井が高く、複数の部署を置く場合は、会話などの音が拡散し聞き取りづらい - 指定避難所の指定を受けている
4	保健福祉センター (福祉避難所※)	【2階】 コミュニティホール 会議室 3	- 施設の位置は市役所に近いが、交差点を超える、道路を渡るなど、若干アクセス性に障害がある - 防災拠点としてのスペースは概ね満足できる - 福祉避難所の指定を受けている
5	君津市役所 北側駐車場	—	- 施設の位置は市役所に近接しているものの、敷地にアクセスするためには道路を渡る必要がある - 敷地に余裕があるため、防災拠点を計画しやすい
6	市役所敷地内 噴水エリア	—	- 移設の位置は市役所の敷地内のためアクセスしやすい - 敷地に余裕があまりなく、平面的に広がりを持つ防災拠点を計画しにくい

※指定避難所

災害発生の危険性があり、避難した住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させ、または、災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させることを目的とした施設です。

※福祉避難所

避難生活において特別な配慮を必要とする方を受入対象とする避難所で、災害時に一般の避難所等での生活が非常に困難となった方を受け入れる二次的な避難所です。福祉避難所は、一般の避難所と違い、要配慮者の避難状況等により開設の可否を判断し、施設側との協議をしたうえで、必要に応じて開設します。このため、災害が発生した場合、避難が必要な要配慮者の方も、まずは近くに開設した一般の避難所へ避難するものとしています。